

芳賀南小学校6年生の荒井俊紀さんが、都道府県農業協同組合中央会などが主催する「第39回『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」で、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

同コンクール作文部門には5万5202点の応募があり、都道府県の審査を経て11月末に全国審査が行われました。表彰式は1月9日(金)に東京都内で行われました。

荒井さんコメント

夏休みの宿題にあったこのコンクールに応募しました。いつもお父さんやおばあちゃんの仕事をみていて、感じたことを書きました。家族や友だちは、びっくりしていました。特別におばあちゃんは、とても喜んでくれました。表彰式では少し緊張しました。



米作りを受けつぎたい

芳賀南小学校 六年 荒井 俊紀

ぼくの家には田んぼがあり、毎年米作りをしています。米作りの中心人物は、八十二歳になるぼくのおばあちゃんです。おばあちゃんは米作りを始めて六十年にもなるベテランです。ぼくの父も小さいころから手伝い、今は機械を運転し田植えから稲刈りまで行っています。

ぼくは、五さいのころから作業をしているおばあちゃんや父のまわりでうろちょろして遊んだり、長ぐつをはいて田んぼについていていました。三年生になったぐらいいから苗作りの手伝いをするようになりました。初めて教えてもらった作業は、種もみをパレットに入れることでした。種もみを入れるための機械にパレットを通す作業は、タイミングが難しいため、汗をばたばた落としてがら次から次へとパレットを通して

いきました。作業を終えたとき、おばあちゃんが、「俊紀くんが手伝ってくれて助かったよ。」

と言っただけでした。ぼくの家の米作りは、おばあちゃんから父に受けつがれます。そしてぼくがもう少し大きくなったら、父と一緒に米作りをしたいと思っています。そうやって田んぼを受けつぎたいです。

それから、ぼくにはもう一つの夢があります。

それは、農業のことをこれからたくさん勉強して、色々な研究や調査をすることです。そう思うきっかけとなったのは、五年生の総合の授業でお米のことを習ったからです。お米については今までおばあちゃんや父から聞いた話でいたい知っていたつもりでした。でも実は知らないことだらけでした。

学校での学習でぼくが一番おどろいたことは、お米の生産量と消費量の変化です。一九七〇年ごろから生

産量が消費量を上まわるようになって、お米があまりようになりました。日本の食生活が昔と比べて大きく変わり、お米にかわってパンやめんなどを多く食べるようになったからです。ぼくの家では朝ご飯もほとんどご飯とみそ汁なので、そのような話はとてもさびしい気がします。

また、農業をやめてしまう人が増えていることや、引きつぐ若い人が減っていることも知りました。今では少しでも農業をさかんにしたり、お米の消費量を増やすためにいろいろな活動が行われているそうです。

そこで、ぼくにも何かできることがないかと考えているうちに、お米に関わる仕事をしたと思うようになったのです。そのためには、もっと米作りについて知らなければいけないし、農業についてくわしく勉強しなければなりません。

まだ具体的には分かりませんが、勉強をしてみつけた仕事をしながら、家の田んぼを受けつぎ守ってきたい。それがぼくの夢なのです。

第22回「ジュニア知事さん」に今西さんが入選

県が「もし私が知事になったらこんなことをしてみたい」というテーマで、小学校4・5・6年生から作文を募集したところ、1,796人の応募がありました。

その中で、芳賀南小学校5年生の今西英さんの作品が、見事各学年5作品の一つに選ばれました。表彰式は12月19日(金)に県公館で行われました。

「栃木アルペンルート」

芳賀南小学校 5年 今西 英

私が栃木県知事になったら、観光地の交通をもっと便利にしたいです。私は箱根や立山黒部アルペンルートに行きたいです。どちらにもいろいろな乗り物に乗りながら観光地を移動することができます。

しかし、栃木県は自家用車の利用が多いので、それ以外の移動手段が不便だと感じることがあります。バスの本数が少なく、交通手段が限られているので、県外から電車で観光に来た人は大変だと思います。

そこで、シャトルバスやロープウェイ、ケーブルカーなどを設置します。ゆっくりと景色を楽しみながら移動できるのもいいなと思うし、電車で来た人も便利になります。

栃木には、世界遺産である日光の社寺、那須の牧場など、たくさんのお見どころがあります。色々な乗り物に乗りながら旅行を満喫できる「栃木アルペンルート」があったらいいなと思います。だから、私が知事になったら観光客が楽しめる県にしたいです。

今西さんコメント



遠足で行った日光で感じたことを書きました。バスの便が少なく、よそからきた観光客の皆さんが、うまく目的地に行くことができないのでは、魅力が半減してしまうのではないかと思います。知事さんとお会いできてうれしいです。



芳賀地方芸術祭で山本さんが特選を受賞

昨年11月に開催された第65回芳賀地方芸術祭ギャラリー部門で、山本澄子さん(西高橋)が、書道部門で特選を受賞しました。

この芸術祭では、写真・日本画・洋画・書道の4つの部門に芳賀郡内の愛好者から総数619点が出展され、山本さんの作品は部門最高賞です。

主な入賞者は次のとおりです。

特選	書道部門	山本澄子さん(西高橋)
準芸術祭賞	写真部門	大関眞基さん(芳志戸)
	日本画部門	高橋勝子さん(西高橋)
	洋画部門	関口和枝さん(芳志戸)

町では、健康で文化的に生き生きと人生を送れるよう生涯学習を推進しています。絵や書道、写真などに興味のある方は、生涯学習課にお問い合わせください。

町民会館【☎028(677)0009】



▲山本さんの書